

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成27年 7月 14日</p> <p>都道府県知事 広瀬勝貞 殿 (市長)</p> <p>提出者 住 所 大分県日田市求町731番地 氏 名 有限会社佐藤農場 代表 佐藤一郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0973-22-5768</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	(有) 佐藤農場
事業場の所在地	日田市 求町 731
計画期間	平成27年 4月1日 ~ 平成28年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 1700頭 (母豚150 雄豚10 その他1540)
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	糞尿：自ら堆肥化、尿を分別し排水処理施設で処理 動物の死体：処理業者へ処理委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表 (責任者) ↓ 従業員 (管理)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (平成26年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	豚の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2400 t	2 t
	(これまでに実施した取組) オガコ豚舎		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	豚の糞尿	動物の死体
	排 出 量	2400 t	2 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 糞尿から尿を分離し、処理施設で処理		

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 糞尿から尿を分離し、処理施設で処理
-----	--

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	豚の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1470 t	t
	(これまでに実施した取組) 尿を分離し処理施設で処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	豚の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1470 t	t

	(今後実施する予定の取組) 尿を分離し処理施設で処理
--	-------------------------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

	(これまでに実施した取組)
--	---------------

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			